

清里・萌木の村の少し手前がある八ヶ岳興民館でゴールです。ここは八ヶ岳・清里地区の開拓の功労者である安池興男を讃える貴重な遺構でもあります。奥多摩湖に沈む小河内地区住民の移住先として清里への入植を世話し、その後も私財を投じて援助を続けたことは、今回ゴール場所を探した際に初めて知りました。開拓者たちの苦勞を偲びながら、現在賑わいを見せる萌木の村にも立ち寄ってみてください。

**お店紹介**  
**「清里ジャム」(37図)**  
 萌木の村には大人気の八ヶ岳ブルーベリーやピアレストラ「ロック」を始め多くのカフェや雑貨店があるが、休日ほど混んでいる。清里駅周辺の寂れた様子とは対照的だ。お勤めは萌木の村の外れにある「ともにの森」の4店舗。落ち着いて店を回ることができ、ここだけでも清里の雰囲気味わえる。清里ジャムは地元食材を中心にあらゆる種類のジャムを作っている。  
 値段は安くはないのだが、お気に入りのジャムが見つかるかもしれない。酸味の強いジャムをリクエストしたら、プラム(黄陽)をお勧めされたのだが、実際甘さを上回る酸味が好み通リだった。併設されたカフェでスコーンセットについてくる3種のジャムを味わってからお土産を選ぶのも一興。  
 10:00-16:00、10月末まで無休、11月木曜定休



10CPでは展望台とあるものの眺望もいまひとつ、さらに季節的に蜂が出そうな場所なので出題を見送り。ゴールでもう少しです。

ちょっと細い林道を通ってもらうこととなり、特に30-32図間は**すれ違い困難**な箇所が多く、このため9-10CPを距離計測対象外としました。殆ど一般車は通らない道ですが、それでも**対向車には十分に注意して**走行してください。

みずがき湖は、28図正面にあるデジタルセンターではなく裏手の展望台に9CPを設置。トイレに行きたい方は一旦デジタルセンターに戻った方がよいですね、この先はトイレがありません。

かつてここにあった舞鶴松は威風堂々としたものでしたが、現在は3代目で植樹から20年も経っていません。かつての容姿になるまでには数十年、いや数百年かかるのかも。

舞鶴松に関しQ-Jを出題しましたが、ここは左右の位置関係だけを問っています。実際の撮影地点は前後にも少し移動が必要かもしれませんが、こちらは無視して解答してください。

**施設紹介**  
**「梅の木遺跡」(8CP)**  
 2014年に国史跡の指定を受けたばかりで施設も新しい。驚いたのは竪穴式住居の復元の方法だ。なんと木を伐採するための石斧を手で製作することから始め、地面を鹿角で掘るなど当時の製作方法まで再現していた。他にもこの遺跡には特徴的なことがあり出題対象に。  
 8:30-17:00、月曜および休日の翌日休館



やがて見晴らしのいい場所にある梅ノ木遺跡に到着して8CP。ガイダンス施設はコンパクトですが、解説パネルに書かれている内容は実に興味深い。またここでは(晴れていれば)雄大なパノラマが眼前に広がっているので見逃しなく。

7CPへ予定したルートは通行止めで仕方なく迂回してオムラサキセンターへ。クイズは駐車場付近や奥の自然公園から出題。興味のある方は本館を訪れてください。

コマ図が連続する区間になりました。特に20図すぐ先の**避トを直進しないよう注意**。直進の対向車の停止線があることから、道なりは左折方向となります。また20図以降は**信号も一時停止もない交差点**があるので、**注意して走行**する必要があります。

**お店紹介**  
**「武川町農産物直売センター」(6CP)**  
 店舗としてはこじんまりとしているが、もし「中込さんのトマト」を買っていたら買うべし。甘くて絶品。トマトにはこだわりがあるようで、他にも数種類のトマトが並んでおり、小さいピーマンのような形のトマトも美味しかった。  
 9:00-17:30、年内無休  
 ↓金精園さんのXより



5CPは水車公園なのですが、クイズはこの場所に加え、近くの萬休院からも出題しています。コマ図を参考に車で移動してください。

水車公園に戻って再スタート後は、ショートCPが連続します。6CPは武川町農産物直売センター。極上のトマト、自家製納豆、幻の武川米など、気になる商品が並んでいます。隣にはセブンイレブンもあるし、コース後半も林道が多いことを考えると、ここで土産や食料調達をした方が良いでしょう。

甘利山駐車場のさらに先へ進む道は、一般車は殆ど通らないものの、やはり道幅が狭い箇所が多いので**引き続き注意**してください。距離的には下りの途中でCPを置いてよかったのですが、出題ネタもなく結局下山したところで4CPとしました。4CPの直前は今回唯一のダートがありますが、路面は荒れておらずノーマル車で問題ありません。

ぐるぐるとドライブクイズ round 14「甘利山再訪、からの北杜で歴史を手繰る旅」

- 凡例**
- 通行ルート
  - 国道、県道など
  - 高速道路
  - CP(チェックポイント)
  - 出題クイズ
  - ★ おすすめポイント
- 小さな数字はコマ図番号です  
クイズは記載していないものもあります

コースはまず甘利山へ向かっていきます。甘利山入口という交差点までに1CPを置こうと探したところ、ちょっと変わった場所に設置しました。恐らく旧松山橋が架かっていたであろう場所で、今となっては川に向かって道が途切れているような形になっています。途中ODに適した場所がなかったため、1CP兼ODという形にしました。

双葉スマートICからほど近い赤坂総合公園、通称ドラゴンパーク。その龍にちなんだクイズを1つ、もう1問は展望塔1Fの展示室を使うつもりでしたが、早朝スタートの方を考慮し差し替えました。

いよいよ甘利山へ上っていきます。昔は全線ダートでしたが、いまはきれいに舗装されています。甘利山が観光スポットになるとは驚きですが、確かに平野部34度でも頂上では涼しかったので、キャンプ場向きなのかも。そのおかげで一般車も結構走っており、**道幅が狭い箇所もあるので注意して走行**してください。この間一本道なので、コマ図はありません。コマ図間距離が20キロ以上というのは珍しいかも。

